

## みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	障害者の移動と社会参加を広げる会	
代表者名	藤本和敏	
連絡先	TEL : 090-3364-2097 FAX :	E-mail hirogerukai@gmail.com

## 1、助成事業報告

助成を受けた事業名	県北震災関連施設バリアフリー状況調査・情報発信事業
事業の目的	<p>2011年に起こった東日本大震災の被災地では、自治体、企業などが復興に向けて知恵を絞り、震災を後世に伝える伝承施設や復興に向けた新たな商業施設、交流拠点施設などの建設が徐々に進んでおります。</p> <p>私たちは障害当事者を中心として、それらの宮城県沿岸部の震災遺構施設、慰霊施設、宿泊施設、商業施設などのバリアフリー状況を調査し、その結果についてインターネットにて広く情報発信することで、多くの方々に宮城県沿岸部に足を運んでいただき、震災の風化を防ぐとともに、防災への関心が高まり、沿岸部の更なる復興へのきっかけとなることを目的としています。</p>
事業の具体的内容	<p>津波被災地である宮城県の県北沿岸部について、現在復興に向けて動き出している各施設について、事前に調査・情報発信の許可をいただいた上で、車いすユーザーと共に訪問し、スロープ・トイレ等のバリアフリーの状況を調査・確認する。</p> <p>当団体ブログ・ホームページにて各施設のバリアフリー情報を発信する。</p> <p>掲載ブログ：日本財団CANPAN  <a href="http://blog.canpan.info/hirogerukai/">http://blog.canpan.info/hirogerukai/</a>          掲載ホームページ  <a href="https://hirogerukai.com/">https://hirogerukai.com/</a></p>

<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、調査施設のピックアップ</li> <li>2、調査対象施設に対しての調査・訪問依頼</li> <li>3、車両借用・公共交通機関等移動手段の確保</li> <li>4、訪問・調査</li> <li>5、記事の作成</li> <li>6、記事の内容の確認依頼</li> <li>7、記事の掲載</li> <li>8、状況に応じた再確認・修正・更新</li> </ol>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>気仙沼市での調査については各施設ともに快く受け入れていただいた。</p> <p>私たちは調査によって障害を持つ方々にも沿岸部に足を運んでいただきたいとの思いから調査活動を行っておりますが、調査時には改善できる点を伝えております。</p> <p>気仙沼市でも内湾の多目的トイレが事情により使えなかったのですが、その後使えるように対応していただくことができました。宿泊施設では、逆に部屋の養生、玄関のスロープについて提案をさせていただきました。</p> <p>実際に車いすユーザーが訪問し、施設を利用することで気づくことはたくさんあり、私たちの活動を通じて施設の改善にもつながる大切な活動だと思っております。</p> <p>新型コロナウイルスにより調査活動が制限されてしまったのは非常に残念でした。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>2020年春より調査活動を本格化する予定でしたが、新型コロナウイルスにより、外出に大きな制限がでてしまったことは非常に困りました。</p> <p>来年は震災から10年を迎えます。時間の経過と共に、被災地への関心も少なくなり風化していくことの懸念もありますが、私たちのブログは開設より4万を超えるアクセスがあります。</p> <p>今後もコロナウイルスの状況に注意しながら、様々な方々のご協力をいただきながら活動は続けてまいります。多くの方々に足を運んでいただき、防災について考えていただくためにも私たちの取り組みは重要になると思っております。</p> <p>今後は車いすでの沿岸訪問についてのモデルプランの作成・障害当事者・支援者の語り部のシステムの構築などにも取り組んでいきたいと思っております。</p>

## 2、助成金使途報告書

### ■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	300,000	
自己資金	12,000	前年繰り越し金
合計	312,000	

### ■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
有料道路代	有料道路通行料	22,000	3,520
車両借用	リフト付き車両借用	50,000	15,000
公共交通	公共交通料金	8,000	1,980
ホームページ作成ソフト	SIRIUS	25,000	24,800
宿泊費		80,000	15,994
調査備品	傾斜計 JINRIKI	70,000	65,945
印刷用紙代		10,000	446
インク代		20,000	10,072
通信費	切手代	10,000	1,600
事務用品	記録用 HD	10,000	5,920
雑費	振り込み手数料 駐車場代 コピー代	7,000	950
合計		312,000	146,227

\*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

返金：153,773円



# 障害者の移動と社会参加を広げる会

## 障害者の移動と社会参加を広げる会



「障害者の移動と社会参加を広げる会」は平成30年6月1日に発足しました。

副代表の「大原康幸」は長く障害者施設に入居しておりましたが、平成28年に代表：藤本和敏と偶然出会い、以前からの目標だった車いすでの地域生活に向けて準備を行っておりました。平成29年には公営住宅が確保できたために大原の地域での一人暮らしが始まりました。

地域での生活が始まりましたが、まだまだ街なかのバリアフリーに関する情報が不足していることを痛感したために「障害者の移動と社会参加を広げる会」を立ち上げ、外出や社会参加を行っていくうえでの様々な問題に対して取り組みを行っていくこととなりました。

こちらのホームページでは私たちの活動の中でも重

点的に進めている「宮城県沿岸部のバリアフリー情報」を中心に紹介しています。

ぜひ、ご覧いただきご意見などがございましたら遠慮なく教えていただきたいと思います。

連絡先：障害者の移動と社会参加を広げる会（ひろげる会）

〒982-0011

仙台市太白区長町2丁目6-47-601（藤本方）

e-mail [hirogerukai@gmail.com](mailto:hirogerukai@gmail.com)

団体ブログ <http://blog.canpan.info/hirogerukai/>